

「新老人の健康講座」2回シリーズ

齢を重ねるとは どういうことか

超高齢社会をよりよく生きるために

第1回**2017年11月13日**（月）**14時～16時**
日野原重明先生に学ぶ老年期の健康とは

第2回**2018年1月22日**（月）**14時～16時**
（☆1月は日程変更の可能性あります）
加齢を受容しつつ上手に生きる

会場 一番町進興ビル2階会議室

東京都千代田区一番町29-2
地下鉄半蔵門線・半蔵門駅4番出口徒歩5分

お申し込み・お問い合わせ

一般財団法人ライフ・プランニング・センター「新老人の会」

東京都千代田区一番町29-2 一番町進興ビル

お電話でお申し込みください。（03）3265-1907

当日、受け付けにて、資料代（1回/千円）をお支払いください。



塚本玲三（つかもと れいぞう）先生

プロフィール

1965年 大阪大学医学部卒業。

1966～'69年 聖路加国際病院で内科研修。

1969～'73年 米国各地で内科研修。

1973～'74 聖路加国際病院勤務。

その後、東海大学医学部、川崎市立井田病院を経、**1984年**から茅ヶ崎徳洲会病院に勤務。院長を経て現在同病院と湘南藤沢徳洲会病院名誉院長。専門は呼吸器内科。

おすすめ：

超高齢社会に生きる私たちは、「加齢による病気や障害を抱えながらも、その人らしくどう生きるかが問われています。」

日野原重明先生は、**105歳**の生涯を通して「どうよく生きるか」のよいお手本を示してくださいました。日野原先生を生涯の師と仰ぐ塚本先生は、現在も茅ヶ崎徳洲会病院で総合内科医として診療に当たりながら訪問看護ステーションと連携して在宅診療にも携わっておられます。

加齢に伴う心身のさまざまな変化は、医学的にはどうということなのでしょう。どうすれば、老化の進行を緩め、さらなる病気の発症を防ぐことができるのでしょうか。そして、いつか訪れる死をどう受容していけばよいのでしょうか。塚本先生の豊富な臨床経験をお話いただき、「齢を重ねるとはどういうことか」を共に学び考える機会としたいと思います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

主催：一般財団法人ライフ・プランニング・センター「新老人の会」